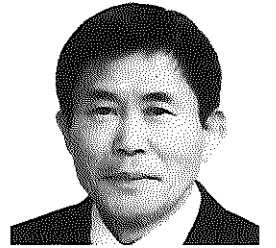


令和元年8月11日執行

村田町議会議員一般選挙公報

村田町選挙管理委員会

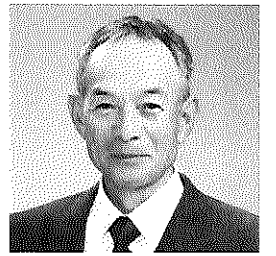


日本共産党
高橋まさるとる

「町民のみなさんのお役にたきたい」、初心をつらぬき2期8年、町民のくらしを守る確かな力として頑張ります。くらしを守る一票をよろしく願います。

高橋まさるとるのお約束

- ◇高すぎる国保税をサラリーマン並みに引き下げを
- ◇介護保険の負担軽減を
- ◇学校給食を無料に
- ◇保育所の民営化に反対
- ◇高校生・専門学校生・大学生のために返済不要の給付型奨学金制度の創設を
- ◇住宅リフォーム助成制度の創設を
- ◇宮城県がすすめようとしている、上下水道の民営化に反対
- ◇竹の内産廃処分場の無害化
- 消費税10%中止、守ろう憲法9条！
- 安心して暮らせる年金で、くらしに希望を！



大久保ひろのぶ

大久保ひろのぶ プロフィール
昭和29年11月21日生まれ64歳
昭和48年 村田高校自動車科卒
東京時計製造株式会社入社
昭和50年 陸上自衛隊入隊
昭和53年 東北学院大学経済学部II部卒
平成21年 陸上自衛隊退官
平成21年～25年 沢戸地区会長
平成22年～26年 村田町農業委員
平成24年 株式会社 大久保 起業

住みやすい町づくり

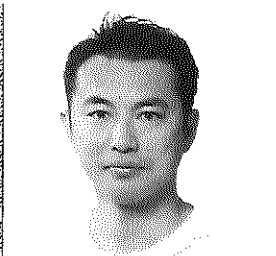
町政を活性化、次世代へ

- 移住者、起業及び農産品生産加工の支援充実
- インフラ整備・菅生スマートインターの経済波及を提案
- 財政の健全化→議員報酬・職員給与の適正化
- 議会の都度、議会報告・意見交換の場を準備
- 農地の最適化・集約化により農の価値アップ
- 福祉と教育の充実・向上

先人たちの努力に感謝し、町民のチャレンジ精神で、活気あふれる街へ今こそ！

山家大プロフィール
 ■1982年2月24日 村田町生まれ(37歳)
 (父) (母) (妻) (長男) (次男) (長女)
 ■父・母・妻・長男・次男・長女 7人家族、三男の父。

- 若くは世帯の声を生かします！
- 子供の安全 登下校時に事故事件に巻き込まれない環境の整備。
- 子育てのサポート 子育ては親の責任「育児は母親」という考え方を改め町全体でサポート。
- 教育のサポート 自ら考え、自ら判断、自ら決定、自ら行動。社会で自立できる力を身につける教育を。
- 起業をサポート 廃校などの村田町の資源を活かし、起業を目指す人が活躍できる場を提供。
- 世代の共生 世代ごとが持つ強みを活かして支えあい、全ての世代に生きがい。



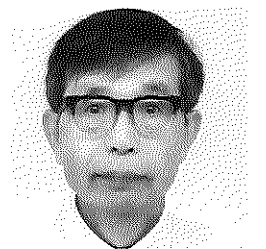
山家 大 37歳 だいち やんぺ

「一町民」の決意表明

- 1 町でひとつしかない保育所は「従来どおり公設公営で」、プラス「延長保育」や「預かり保育」等保育環境の充実のため、最大限の努力をします。
- 2 沼辺幼稚園の存続のため、最大限の努力をします。
- 3 非常識な「議員報酬増 月3万円」をさまざまな角度から問題提起し、多くの町民が意思表示できるような「空気」をつくり、議会はもちろん「町政のあり方」を変えるため、最大限の努力をします。
- 4 議会の議決が必要な5000万円を超える公共工事の入札結果（落札率等）すべてを情報発信します。
- 5 毎月2回を目標に議会報告「かわら版」を新聞折り込みします。

「一町民」の略歴

1955年 福島県生まれ
元教員
元自然養鶏業
元町議 (2011～15)



高橋 典久 37歳 のりひさ



さいとう 万之丞

- 子や孫のために安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。
- 長年の議員経験を生かし、皆様の声をしっかり町政にお届けします。
- 村田町の機関産業である農業振興に積極的に取り組みます
- 企業誘致を推進し、村田町の発展を図ります。

未来に向け 新たな覚悟で！

万之丞 プロフィール

- ・生年月日 昭和18年5月17日
- ・柴田農林高等学校 卒
- ・村田町議会議員(9期)
- ・村田町議会議長(2期)
- ・宮城県町村議会副会長
- ・仙南議長会会長



大沼 よしたか

ご挨拶

この度の、村田町議会議員選挙に立候補しました 大沼 よしたか です。私が目指す町政への姿勢は次の通りです。

「幸せ」を実感できる町政を！

心と体の健康づくり

- 少子高齢化に対応した「安心・安全・安寧」を実感できる町づくりを目指します。
- 豊かな暮らしづくり

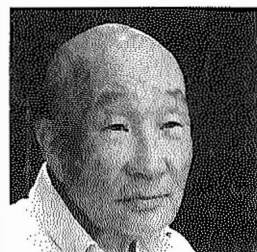
○ 学校跡地等の利活用による、新たな公共施設・企業誘致による就業機会の拡大を図ります。
基幹産業である農業づくり

○ 行政と農協の連携強化による農産物の販売戦略を構築し、農業所得の増大と安定を目指し増す。

税金の「ムリ・ムダ」のない使い道を考え、費用対効果を検証し、効率的な歳出を図ります。

略 歴

- 昭和二十六年三月二十一生まれ
- 宮城県柴田農林高校卒
- 宮城県農協講習所卒
- 村田町農協共済部長
- みやぎ仙南農協金融部長
- 日本年金機構大河原年金事務所
- 右同平成二十七年七月退職
- 右同年村田町議会議員初当選



さとう しげお 佐藤 正隆

▼「こじばら」議場に身を置いていて正体不明の違和感に襲われることが多くなっていました。

特に学校再編、町づくりなどの長期ビジョンの論議で、統合やら民話による合理化がはやりのように言われ、町の将来はそれしかないとの論調が幅を利かせています。

しかし、その陰で忘れられ、置き去りにされそうな永遠の課題、官のスリム化、活性化はそのままに過ぎてしまっているのです。

▼三期12年、議場にあって町の後進性に心を痛めてきました。そして行き着いた結論は、行政の四年ごとの不連続性とそれを補完すべき議会力の絶望的なまでの不足でした。

町を二分する激烈な町長選挙の陰で、アッチ派・こっち派のしこりが四年ごとにも再発し、再生産されて近代化の芽を摘む。町政交代ごとに流失する継続すべきそれを繋いでいくのは議会力なのだと思ふべきでした。

▼学校再編計画の再考を求める審議で万策尽きた私は『愚策』と云いつてないかと発言してしまいました。ご存じの再編計画が現実化した段階で、町内の子育て世帯の流出が始まっているのではないかと。はやりの、うわっ滑りな近代化論議で町の崩壊を早める…それを止め、論議を深めて方向を決める、それが議会なんだと思っています。



すずき 狭山 幹太

健全な町づくりを！

この度の改選に当たり中山部落会・田辺部落会・郷友会ほかの皆様よりご支援を頂き、三度町政に参画する事を決意いたしました。

協働の力により健康・健全な町づくりを目指し活力ある地域社会創造のため町政の伸展と住民生活の向上のため、あらゆる努力をする決意です。

鈴木保博の基本政策

- 一 将来を担う青少年の育成
 - 二 ほ場整備の推進
 - 三 道路網の整備
 - 四 高齢者にやさしい地域作り
- これらの実現に向けて全力で取り組んで参ります。

略歴等

- ◎ 昭和二十六年三月 村田町生まれ
- ◎ 昭和四十四年三月 宮城県柴田農林高等学校林業科卒業
- ◎ 昭和四十四年四月 大昭和パルプ
- ◎ 昭和四十八年〜平成九年 造園業 勝楽園
- ◎ 平成十年〜現在 衣崎造園開設
- ◎ 平成十七年〜平成二十六年 J A みやぎ仙南青年部部長
- ◎ 平成十九年三月〜平成二十五年二月 村田町農業委員・職務代理
- ◎ 平成二十三年八月 村田町議会議員
- ◎ 平成二十七年八月 柴田郡村田町外一町澄川土地改良区理事



むつ子 狭山

私は、みなさまに灯りをともしつづける人間でありたい。私を育ててくれた村田に感謝し恩返しという思いで立候補いたしました。

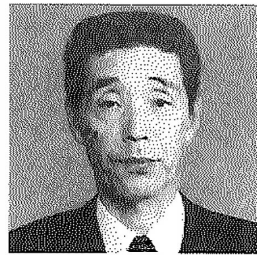
さてこの28年前の出来事です。村田の議会は、議員の方々の間違っただけで買収ということでも次々と逮捕され恥ずべき悲劇の村田でした。村田の子供達は恥しい出来事に怒り悲しみました。議会は、出直し選挙という事になり、私は何とかしなくてはという気持で選挙に出馬しました。残念な結果でしたけれども、あの時の村田の小学生が沿道に並んで、手を振り『お母さんがんばって、お母さんがんばって』という声援です。その時の光景は私の脳裏から忘れることはありません。

あれから28年、今、尚、その火種はまだ残っているともいわれております。絶対に過ちは二度と繰返してはなりません。

- 蔵の町並の無電柱化
- 道の駅の拡張
- 三町合併の見直し (仙南の中核都市を目差す為)
- 豪農の館 (周辺の整備)
- 旧第4小学校の利用方法 (簡易ホテル・アールグレイパークの設置)

プロフィール

宮城県立大河原高等学校卒 (現在・大商)
今現在 あいやま介護老人福祉施設
メフオス北日本 勤務



さとう 洋治

たしかかな力で

行財政執務経験と政治経験
そこから生まれる洞察力と先見性
それをフル活用できる豊富な人脈

産まれ育った

ふるさと村田の

活力再生を

安全安心で活力ある

未来とするために

一・地域経済の活性化

地域産業の振興・企業誘致

確実な雇用と創出そして安定を

一・子どもたちの

笑顔はじけるまちを

教育・福祉を充実し、安心した子育て

環境づくり…少子化・人口減少対策

一・安全で安心な暮らしを

東日本大震災を教訓とし、

自然災害に強い町づくり

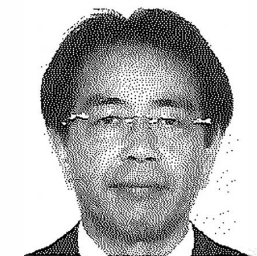
一・議会・行政の緊張感で

真摯な議論を

町の現状・実態を正しく認識した上で、
正確な議論を通じ、町民が納得できる
真に効率的な、議会活動と行財政運営
行政の透明性を高める真摯な議論で、
町民主体の町政の確立を！

「官僚や議員の常識」ではなく

「町民目線の常識」による
町政の運営へと舵を切りまじよう



やまだ はじめ

現場

第一に

誠意

をもって

行動

します

住民の福祉向上と地域社会の活力ある進展を目指して

略歴

1951年12月26日生
東北外国語専門学校卒
元会社員(ヤマハ勤務)
2003年
町議会議員に初当選
副議長
町監査委員
みやぎ県南中核病院企業団議員
総務民生常任委員長
議会広報編集委員長等歴任



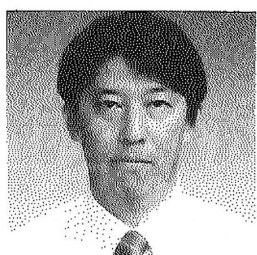
令和の時代は「地域と
地域一人ひとりの繋が
りが求められ、助け合
い、支え合う、共生と協
働が織りなす町づくり
が求められている。
私は、少子高齢化・人
口減少に伴い地域の伸
展と活性化に向け、「現
場第一」に、町民の声に
「誠意」をもって対応し、
敏速な「行動」を取りな
がら町民の負託にに応え
られるよう全力で責任
ある議員活動に取り組
んでいきます。

ストップ・ザ・本町！本町から変えよう！

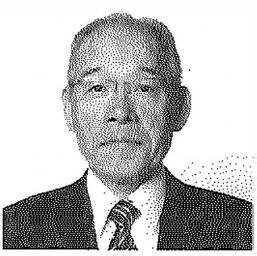
3町合併(小が大を食らう)は、全くの幻想です！
町議会ぐるみの選挙違反、竹ノ内産廃へ県費30億、新幹線の村田新駅、
村田大河原境を中心とする3町合併、3町統合の巨大給食施設…
悪知恵、キャンブル政治の輸出、他町ゼネコンへ朝貢、大工場の撤退、
過去20年で村田は、町民、近隣町民への信用を失い、全域で過疎化が進み
20年後、高校消滅、人口8,000人、年間出生20名、借金比が県内で1.2
その時大河原は、2町救済合併に成るとあなたは思いますか？
～悪、強欲を賞する因習、思いやらない、人材育成しない因習に×を！～
◎即時！通年の町民の無料相談所を開設します。(弁護士協力あり)
◎人命救助の経験から、区長の増員、回覧板制度の導入を町へ提案します。
◎感受性強い子供達の近寄らない"暗く寂しい町並み"へ約4億円、伝建是正を。
◎都市計画道路の見直し支持、町道小池広畑バイパス+大河原広表→関場→
村田IC直通道、幻の管生町裏→名取熊野堂大沢(農免道)の代替道を提言します*
◎公費6億未通道の収拾案として合同埋葬制 墓地公園の整備を提言します。

〔略歴〕

*行政書士
宮城県会の綱紀委員
(2012～現在)
大震災の被災地派遣
(行政、自動車、住居)
*仙台青年会議所OB
アジア太平洋会議で
海外者の参加登録、援
小ツアー、英翻訳支
*宮城県芸術協会会
東北県内で受賞多数、
秋田国民文化祭へ等
宮城より推薦出品等
*白鳥神社お神輿
(2006～現在)



ささき じゅんいち



鈴木 ひろし

『村田の魅力』を感じる、

町づくりを民間の感覚で取り組み

安全で幸せな村田町をつくりま

◎人が集う安心できる豊かな

町づくりに努めます。

～安定した生活を～

(一)財政改革

*企業誘致による財源確保と若者
の定住促進

*無駄をなくした事業の実施

(二)子育て支援の充実

*待機児童の解消と安心して子育
て出来る支援体制の構築

(三)道路インフラの整備

*生活道路の整備と高田・関場線
の南進実現

経歴

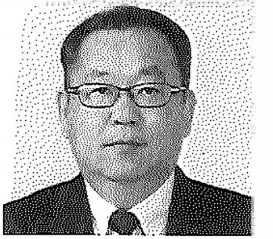
- 宮城県白石高等学校 卒業
- 酪農学園大学酪農学部 卒業
- みやぎ仙南農業協同組合
- 宮城県森林インストラクター協会
会員
- 三級造園技能士
- (株)宇沼林産勤務(海岸防災林植栽
、森林再生事業など)

女性の声を町政に



大内 けい子

- ① 高齢者が生きがいを感じる町づくりを推進します。
- ② 女性の力で町民主役の町政の実現をはかります。
- ③ 教育と福祉の充実で明るいまちづくりを。
- ④ 子育て支援の充実で若者定着のまちづくりを。
- ⑤ 村田幼稚園、村田第二中学校の存続。

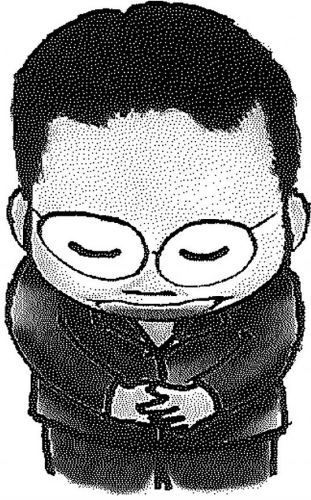


よしの
敏明

活力ある村田町へ！

プロフィール

- ★ 昭和36年4月6日生まれ（58歳）
- ★ 白石高校卒・東北学院大学法学部卒
- ★ 株式会社エスワン 代表取締役
- ★ 村田町企業振興連絡協議会 会長
- さくら青年会議所 2000年度理事長
- 大河原商業高等学校PTA会長（19年～23）



力強い発言と行動力で
住み良い村田町を！

- 企業感覚を行政・議会に！
- 住民の皆様の声を行政へ橋渡し致します。
- 町全体のことを考え、将来を見据えた議員活動をします。
- 広域連携を進めてまいります。
- ふるさと「村田」をもっと素晴らしいふるさととして次世代へバトンタッチできる様に活動致します。

プロフィール

- 昭和27年3月31日生まれ
 - 宮城県大河原高等学校 卒業
 - 東北インフォメーション・システムズ株式会社 入職
 - 宮城県農業大学校 入職
 - 財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター 入職
 - 現在 農業に従事
 - 村田ファミーズ会員、JA農家組合委員
- http://www.masanobu.biz

QRコード



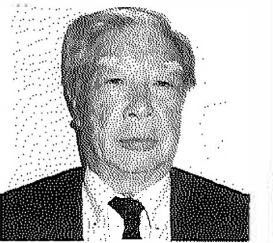
「ひと・まち・しごと」の改革を目指します。

- 【ひと】
 - 子育て支援策の充実を図ります。
 - 高齢者・障害者の福祉の充実と生活環境の充実を図ります。
- 【まち】
 - 幼稚園や中学校の統廃合の反対、地域に密着した小中一貫校の推進で健全な子供の育成に努めます。
 - 通学路や生活道路の整備を行います。
- 【しごと】
 - 山林や農業に被害をもたらすイノシシ撲滅の早急な対応を行います。
 - 各地域の農業用排水の不自由な箇所の点検と整備を推進します。
 - 農業で稼げる環境整備を行います。

誰もが活躍でき
安心して暮らせる
町づくりをします



すすずき
正信



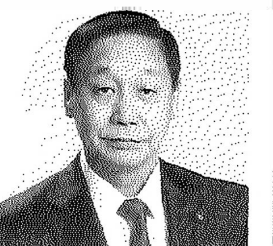
村上登

青春というのは年齢ではない
好奇心と情熱さえ持っていれば
その人はいつまでも青春だ

M・ウルマン

真実路

実感できる地域の豊かさの実
現に向けて頑張ります。
地域の豊かさは町の賑わいに
つながります前進あるのみ。
安心・安全な町づくりに努め
ます。



公明党公認
きくち
菊地むつお

菊地むつおは
「あなたの声を届けます！」

【主な実績】

- ◆ 「子ども医療費」の無料化を実現
所得制限を撤廃し、対象年齢を18歳
まで引き上げました。
- ◆ 幼保小中学校の全ての教室に
エアコン設置」を推進
- ◆ 「町税等のコンビニ納付」を実現
- ◆ 「医療用ウィッグ」の助成を実現

【菊地むつおは】

- ◆ 教育環境の改善に
取り組みます。
- ◆ 高齢者も安心して生活
出来る町にします。
- ◆ 町の防災減災に積極的
に取り組みます。

【略歴】

昭和四十六年 柴田農林高校土木科卒
昭和四十七年 東北測量高等専門学校卒
竹中工務店等を経て、昭和五十二年
「菊地測量設計事務所」を設立
平成二十七年 村田町議会選挙初当選
議会広報編集審査特別委員、産業建設教育
常任委員を歴任。公明党村田支部長。



えんどう
みおる
遠藤実
(六十九歳)

町民の皆様が主役であることを
念頭に「安全で安心なまちづ
くり」を進めます。

- 一、地域が活性化するまち
- 圃場整備の早期実施に全力で取
組みます。
- 集落営農組織の早期立ち上げ・担
い手の育成に全力で取り組みます。
- 住民協働による有害鳥獣被害軽
減対策(メッシュ柵設置)の推進に
全力で取り組みます。
- 隣接市町との連携を進めます。

- 一、少子高齢化対策
- 子ども・高齢者が集える隔だまり
広場の整備拡充に全力で取組み
ます。
- 子ども・子育て世代への支援
(通園通学時の安全対策)拡充を
全力で進めます。
- 若者の定住化を促進します。

- 一、教育環境整備
 - 「学校教育環境の基本的な考え
方」の提言による地域住民とPT
Aとの合意形成を確実に進めま
す。
 - 文化活動の充実(地域に残る芸術
文化の積極的な保存進めます)
- 実現のため全力で取組みま
す。皆様の「支援をお願い致し
ます。